

福井県地方の衛生上有害な動物について

福井県衛生研究所

福島俊定

動物と人間との交渉は頗る多様であるが、われわれ人間と密接な関係をもつてゐる動物は非常に多く人間生活に大きな利益を与えるよく利用されるものもあるが、亦一方極めて有害なものも少くない。人体寄生虫をはじめ蠅、タニ、ネズミや吸血昆虫である蚊、アユ、ノミ、シラミ等はこの例である。

人間の病気の中には直接動物によって起るものもある。又人間と動物とが同一の病気にかかるものもあり、或は病気が動物によって媒介されるものもある。これら人間の健康に直接関係がある動物はわれわれが日常目撃している小動物や昆虫であつて、決して珍奇なものではないがその実態が一般にはあまりよく知られていない様である。

この様な動物について研究を進める事の終極の目的は“駆除”にあるが、適確なる駆除の対策をたてるためにもその対象を熟知する必要がある。種が異なればその生態も原則として異なる事からして唯一つの動物を対象としても多大の研究が要求される。

本県におけるこの方面的研究はわずか数氏によつてなされているに過ぎず未解決の分野が極めて大きい。筆者は数年前よりこの方面的仕事に興味を持ち調査研究の機会に恵まれていたので、本県に於ける衛生上注目すべき動物について不完全且断片的で遺憾であるが新たに知り得た所を記したい。

その1

福井県産蠅類の分類並びに分布

福井県地方の蠅類についての記録は古く昭和8年10月の福井県昆虫目録に若干発表されている。しかしこれは当時の研究段階としては誠にやむを得なかつたと思われる所以あるが、分類学的知識の不充分さのために全く書き改めねばならない現状である。

筆者及び末永は福井大学生物研究会誌(1953年)に新しく本県産の蠅類について記録したが、その後の調査により更に数種を追加する事ができたのでここに改めて本県産の衛生上重要な蠅類のリストを掲げる。

発表に当り、金沢大学理学部動物学教室瀧見直先生には分類その他に種々御教示いただいた。亦当衛生研究所長、大瀬貴光氏、福井大学学芸学部生物学教室、常木勝次先生には常に御指導いただいた。記して謝意を表する。

福井県産蠅類のリスト

リストの記号

十：稀有へ 少數種

廿 : 貧適種

卅 : 多產種

㊂ : 南方系種

SCATOPAGIDAE

フンバエ科

- 1 Scopeuma stercorarium (Linné, 1763)
 ヒメフンバエ 廿 (日本全土)
- 2 Scopeuma mellipes (Coquillet, 1898)
 キアシフンバエ 十 鎮江市, 池田村 (日本全土)

DRYOMYZIDAE

ベツコウバエ科

- 3 Stenodryomyza formosa (Wiedemann, 1830)
 ベツコウバエ 廿 (日本全土)

ANTHOMIIDAЕ

ハナバエ科

- 4 Ophyra leucostoma (Wiedemann, 1817)
 ヒメクロバエ 廿 (日本全土)
- 5 Ophyra nigra (Wiedemann, 1830)
 クロツマハナバエ 廿 (日本全土)
- 6 Ophyra sp.
 チヤバネヒメクロバエ 十 福井市, 鎮江市 (本州)
- 7 Fannia canicularis (Linné, 1761)
 ヒメイエバエ 廿 (日本全土)
- 8 Fannia scalaris (Fabricius, 1794)
 コアシヒメイエバエ 廿 (日本全土)
- 9 Anthomyia illocata Walken, 1856
 クロオビハナバエ 十 鎮江市 (本州, 九州)

MUSCIDAE

エバエ科

- 10 Orthellia sp.
 コミドリハナバエ (新称) 十 鎮江市 (本州, 九州)
- 11 Muscina stabulans (Fallén, 1823)
 オオイエバエ 廿 (日本全土)
- 12 Muscina pascuorum (Meigen, 1826)
 クロオオイエバエ (新称) 十
 1952年の日本新記録に次ぐ 鎮江市で一頭 (本州)
- 13 Graphomyia maculata (Scopoli, 1763)

- セマダラハナバエ ♀ (日本全土)
 14 *Musca vicina* Macquart, 1851
 イエバエ ♀ (日本全土)
 15 *Musca hervei* Villeneuve, 1922
 ノイエバエ ♀ (日本全土)
 16 *Stomoxys calcitorans* (Linné, 1761)
 サシバエ ♀ (日本全土)
 17 *Morellia hortorum* (Fallén 1816)
 セジロハナバエ + 鶴江市 (北海道, 本州)

CALLIPHORIDAE クロバエ科

- 18 *Calliphora lata* Coquillett, 1898
 オオクロバエ ♀ (日本全土)
 19 *Calliphora grahami* (Aldrich, 1930)
 ケアカクロバエ ♀ (日本全土)
 20 *Triceratopyga calliphoroides* Rodendorf, 1931
 フタオクロバエ + 福井市, 鶴江市 (北海道, 本州, 九州)
 21 *Lucilia sericata* (Meigen, 1826)
 ヒロズキンバエ ♀ (日本全土)
 22 *Lucilia illustris* (Meigen, 1826)
 ミドリキンバエ ♀ (日本全土)
 23 *Lucilia caesar* (Linné, 1758)
 キンバエ ♀ (日本全土)
 24 *Lucilia ampullacea* (Villeneuve, 1922)
 コガネキンバエ ♀ (日本全土)
 25 *Lucilia cupurina* (Wiedemann, 1830)
 ヒツジキンバエ ♀ (本州, 四国, 九州)
 26 *Lucilia papuensis* (Macquart, 1842)
 ミヤマキンバエ + 福井市, 鶴江市 (日本全土)
 27 *Lucilia bufonivora* (Moniez, 1876)
 + 鶴江市 (本州)
 28 *Lucilia porphyrina* (Walker, 1857)
 スネアカキンバエ + 福井市 (本州, 九州)
 29 *Hemipyrellia ligurriens* (Wiedemann, 1898)
 トウキヨウキンバエ ♀ (本州, 四国, 九州)

(寄)

- 30 *Chrysomya pinguis* (Walker, 1858)
木木クロオビキンバエ ♀ (本州, 四国, 九州)
- SARCOPHAGIDAE ニタバエ科
- 31 *Sarcophaga melanura* Meigen, 1826
シリクロニクバエ ♀ (日本全土)
- 32 *Sarcophaga albiceps* Meigen, 1826
ゲンロクニクバエ ♀ (日本全土)
- 33 *Sarcophaga peregrina* Robineau-Desvoidy, 1830
センチニクバエ ♀ (日本全土)
- 34 *Sarcophaga similis* Pandellé, 1896
ナミニクバエ ♀ (日本全土)
- 35 *Sarcophaga misera* Walker, 1849
ミセラニクバエ ♀ (北海道, 本州, 九州)
- 36 *Sarcophaga tsushimaiae* Senior-White, 1924
ツシマニクバエ + 銚江市, 三国町 (北海道, 本州, 九州)
- 37 *Sarcophaga polystylata* Ho, 1934
ペキンニクバエ + 川西村, 杉津 (北海道, 本州, 九州)
- 38 *Sarcophaga brevicornis* Ho, 1934
イソニクバエ + 三国町, 川西村, 杉津 (本州, 九州)
- 39 *Sarcophaga harpax* Pandellé, 1896
クサニクバエ + 蒼島 (北海道, 本州, 九州)
- 40 *Sarcophaga erecta* Ho, 1934.
+ 若狭, 六呂師, 平泉寺 (本州, 九州)
- 41 *Sarcophaga shützei* Kramer, 1909
+ 銚江市 (北海道, 本州)
- 42 *Sarcophaga caudagalli* Böttcher, 1912
+ 銚江市 (中河, 神明) (本州, 九州)
- 43 *Sarcophaga antilope* Böttcher, 1913
+ 福井市, 銚江市 (九州)
- 44 *Sarcophaga septentrionalis* (Rodendorf, 1937)
クロニクバエ + 蒼島 (本州, 九州)
- 45 *Sarcophaga japonica* Hori, 1954
+ 白雲山 (本州)
- 46 *Sarcophaga josephi* Böttcher, 1912

- 十 福井市、鶴江市 (本州、九州)
 47 *Sarcophaga kawauensis* Kano, 1950
 カワユニクバエ + 鶴江市 (北海道、九州、本州)
 48 *Sarcophaga kobayashii* Hori, 1950
 + 日野山 (本州)
 49 *Sarcophaga ugamuskii* (Rohdendorf, 1937)
 コニクバエ + 福井市 (本州)
 50 *Sarcophaga kagaensis* Hori, 1954
 + 日野山 (本州)
 51 *Sarcophaga* sp. /
 堀氏が既に採集している新種 六呂師にて3頭
 52 *Sarcophila cinerea* (Fabricius, 1794)
 + 三里浜 (本州)

蠅の食物となるものは到る所比較的豊富に存在し、その上種々の交差機関によって運ばれ易い為に、我々の生活する所にはどこにでもみられ、その分布は一般に広い地域にわたって世界共通種となっているものも多い。

日本産の蠅類についての地理的分布は日本に於ける分布の調査が充分でない事、特に台湾やフィリピン等の東洋区地方の記録がよく整理されていないことのために分布の様相は判別しかね、旧北区に広く分布し西ヨーロッパにまで亘る種類とすると判別はますます困難になってくる。唯北海道産のヒメシリアカニクバエ *Sarcophaga striata*, クロキンバエ *Phormia regina* 等は所謂北方系で、九州で採集されるオビキンバエ *Chrysomya megacephala* は所謂南方系と云うことが大体間違いでない程度である。

福井県に於ては上記の数種を除き日本産の蠅の大部分を採集できるが、南方系とみられるヒツジキンバエ *Lucilia cuprina* が普通に採集される事からも本県が両系統の移行地帯の一部に当っている事がうかがい知られ、石川県に於ける調査を通じて堀氏も同様な意見を述べている。

県内でも山地では (40) *Sarcophaga erecta*, (45) *Sarcophaga japonica*, (48) *Sarcophaga kobayashii*, (50) *Sarcophaga kagaensis* 等が、海岸では (37) *Sarcophaga polystylata*, (38) *Sarcophaga harpax*, (51) *Sarcophaga cinerea* 等、水田地帯では (6) *Ophyra* sp., (27) *Lucilia bufonivora* (42) *Sarcophaga caudagalli*, 等が採集される。

嶺南地方の調査が不充分なため想像の域にとどまる事であるが、南北両系統の移行地帯におかれている本県の地理的位置からみて嶺南と嶺北では幾分違った所がみられるのではないかと思われる点、及び蠅相の構成が山地、平地、海岸、市街地、水田地帯等地域によつて着しく違つてくる事は、個々の種類の習性の違いと共に興味を引く事項である。

参考文献

- 福島俊足・末永歎 (1953) : 福井県地方の蠅類 Organizer 創刊 No. 1
PP. 21 ~ 24.
- 伊上雄二 (1947) : 金沢地方に於ける蠅の研究, 公衆衛生学雑誌
Vol. 3 No. 2, P. 13
- 堀 克重 (1951) : 東北地方の蠅類 昆虫 Vol. 19, No. 1
(1952) : 朝鮮とその隣接大陸に産する蠅類について、应用
動物学雑誌 Vol. 17, No. 1, 2,
- (1951) : Morphological Studies on Muscoid Flies
of Medical importance in Japan (III)
- The Science Reports of the Kanazawa University Vol. 1, No. 2 PP. 1 ~ 11
(1953) : (IV)
- The Science Reports of the Kanazawa University Vol. 2, No. 1, PP. 75 ~ 85
: (V)
- Special Number of the Japanese Journal of Sanitary Zoology Vol. 4, PP. 296 ~ 299
: (VI)
- The Science Reports of the Kanazawa University Vol. 2 No. 2, PP. 1 ~ 8
- 加納六郎 (1954) : 日本のハエ(衛生害虫叢書Ⅲ) DDT 協会
(1951) : 蠅 自然 Vol. 6, No. 9 PP. 32 ~ 43
- Kano, R. (1950) : Notes on the flies of medical importance in
Japan (Part I) Flies of Hokkaido
Japan. J. Exp. Med., Vol. 20, PP. 823 ~ 831
(1951) : (Part IV)
- Flies of Hachijo area Japan. J. Exp. Med. Vol. 21, PP. 223 ~ 227
(1951) : (Part V)
- Classification of Japanese female blowflies by the characters of
tergites and sternites
Japan. J. Exp. Med. Vol. 21, PP. 229 ~ 241
(1951) : (Part VI)
- Revision of the genus Calliphora in Japan, with a redescription of
Calliphora lata Coquillett, 1898.
- 加納六郎 (1955) : 東京都下新島における風土病並びに衛生害虫調査
第1報 新島の蠅及び蚊について
お茶の水医学雑誌 Vol. 3, No. 2, PP. 30 ~ 34
- 佐々木 (1952) : 疾病と動物. 岩波全書.